

4. 意見交換会・農政審議会について

(1) 協議機関及び協議日時一覧

- ①市長との打合せ..... (平成16年 4月27日)
- ②農政審議会..... (平成16年 5月19日)
- ③部内打合せ..... (平成16年 6月 3日)
- ④商工会議所..... (平成16年 6月 9日)
- ⑤J A..... (平成16年 6月17日)
- ⑥島田営農組合..... (平成16年 6月25日)
- ⑦クラフト..... (平成16年 6月25日)
- ⑧ふるさとステーション..... (平成16年 6月29日)
- ⑨島田営農組合..... (平成16年 7月 2日)
- ⑩定期利用者会..... (平成16年 7月 5日)
- ⑪農業委員会..... (平成16年 7月22日)
- ⑫島田基盤整備実行委員会..... (平成16年 7月22日)
- ⑬農業団体..... (平成16年 8月10日)
- ⑭ふるさとステーション等運営委員会.. (平成16年10月14日)
- ⑮J A 青年部..... (平成16年10月26日)
- ⑯農政審議会..... (平成16年11月18日)

(2) 要約意見

①市長打合せ(平成16年 4月 27日)

- a) 第5案(本編 P.2-11 参照)をもとに幅広い説明、意見交換(パブリックコメント)を行い計画の参考とすること。
- b) 橋梁新設については、県に対し本市に係る他の事項との関連を含めて検討を依頼する。
- c) 「ふれあい農業の郷」の効果及び目的について以下の点に留意してまとめる事。
 - ・食料自給の維持
 - ・農業の必要性
 - ・農業を中心とした多面的機能
 - ・農家の元気が出る施策
 - ・農家の収入向上
 - ・農家の労働等の負担軽減
 - ・市民のニーズ
 - ・田園空間の確保

②農政審議会(平成16年 5月 19日)

- a) 商工会議所の中では、「やちよふれあいの農業の郷」にお客が奪われるのではないかと心配がある。
- b) 委員会的なものを作り、地元の意見を取り入れていったらいいのではないか。

③部内打合せ(平成16年6月3日)

- a) 商工業関係の説明時にテナント料などの諸条件まで明示できるようにしていればよいのでは。
- b) 八千代市のふるさと産品を出品できないか。
- c) 商工業ブースを設け、予約による工場見学や会社PRを行うのはどうか。
- d) 商工課のアンケートからふるさとステーションにはデパートへの買物前の50~60歳代の来訪者が多い結果となっている。
- e) 建物を建ててからブースを募集することは止めたほうがよい。
- f) 運営はどこがやるのか明確にすべきだ。
- g) ある程度案がまとまった時点で意見交換会を開催したほうがよいのではないか。
- h) 営農団体以外の団体が施設やイベントに参加できるか決めておく必要がある。
- i) 市が中心となるのは出来上がりまでで、運営は完全に委託すべきだ。
- j) 農業公園の名称は「多目的広場」にしてはどうか。
- k) イチゴ狩りは人気である。
- l) ふるさとステーションには遊ぶ為の施設や、知恵袋コーナーがない為ふれあい農業の郷に設置すべきだ。
- m) 体験・観光農園は手間のわりに利益が少ない。農家の方が本業に支障を来たす可能性があるのではないか。
- n) リピーターの多い魅力ある施設にすべきだ。(ex 新設の橋梁は嗜好をこらす。じゃぶじゃぶ池は親子で楽しめるものにする。公園を芝生にする等)
- o) 船着場を作ればどうか。

④商工会議所(平成16年6月9日)

- a) もう少し詳細を詰めてから協議して欲しい。
- b) 商工サイドが入っていけるような施設をつくるのか。
- c) 他の商工団体にも詳細事項がまとまった時点で報告する。

⑤JA(平成16年6月17日)

- a) 島田が自立できるような施設にしてほしい。
- b) 構想の中心は島田であり、そこがうまくいってから広げるべきではないか。

⑥島田営農組合(平成16年6月25日)

- a) 会議や検討事項のまとまりがないので委員会形式で進めたほうがよいのでは。
- b) 道路計画について国道16号から駐車場に最短距離で接続できないか。

⑦クラフト(平成16年6月25日)

- a) ふるさとステーションの反対側に同じような施設ができるとクラフトの客が減ってしまうのではないか。
- b) その施設にはいるのは島田のみか。他の地区や団体は入れないのか。市内全体の農家を対象として公平に進めてほしい。

⑧ふるさとステーション(平成16年6月29日)

- a) 賃貸借ブースは誰が行うか決めてから計画したほうがよい。
- b) 平日も直売所を開催したほうがいいのでは。
- c) 商工会議所の販売ブースは誰がやるか決まってから確保した方がよいのではないか。
- d) 研修センターと内容が重ならないように留意すべきだ。
- e) 島田が要望する施設に対して市の用地内で建設し、賃貸契約にすればどうか。
- f) 加工品の販売にあたり視察を行うべきだ。
- g) 島田で作られた加工品はふるさとステーションや市外の販売先も確保すべきだ。
- h) 貸し自転車は放置自転車を利用すればどうか。
- i) 貸し自転車の運営母体をあらかじめ決めておいてはどうか。
- j) いもほり・花摘み等もあらかじめ運営母体を決めてはどうか。
- k) ふれあい小動物コーナーも誰が何をやるのか決めておくべきだ。また、専門学校生の実習を念頭に置いてはどうか。獣医師会に相談してはどうか。
- l) パーベキュー広場の運営をあらかじめ考慮する必要がある。
- m) パーベキューの食材は市内産のものを利用すべきだ。また、売り方を工夫する事によっては十分営業できると考える。
- n) 地元で作るレストランはちょっと難しいのではないだろうか。

⑨島田営農組合(平成16年7月2日)

- a) じゃぶじゃぶ水路に水車を作ってはどうか。
- b) 地元の要望は、直売所、市民農園に来た方の休憩室・シャワールーム、その他にコミュニティセンター、農産物加工所であり、市はどの施設を作ることができるのか。
- c) 道路計画について国道16号から駐車場に最短距離で接続できないか。
- d) 国道の側道を整備し、法下の農道の拡幅は可能ではないか。

⑩定期利用者会(平成16年7月5日)

- a) 島田側は体験型で特化したほうがよいのではないか。
- b) 米本側の駐車場はどこに増やすのか。

⑪農業委員会(平成16年7月22日)

- a) 大型車も対応すべきではないか。
- b) ふるさとステーションの利用者以外の駐車をなくす対策をとってほしい。
- c) 総工費はどのくらいかかるのか。

⑫島田基盤整備実行委員会(平成16年7月22日)

- a) 国道16号からの道路の取り付け道路を最短で取り付けることは可能か。
- b) 7mの中間農道から国道16号の側道に直接つなげる事は可能か。

⑬農業団体(農事組合法人等)(平成16年8月10日)

- a) 最初は販売だけを優先して行うべきではないか。
- b) 「ゆめのかげ橋」を作らないで双方競争すればよいのでは。

- c) 島田地区は経営できるか不安である。
- d) 島田の営農組合としての意見を言って欲しい。
- e) 島田にもっと充実したものを作ったほうがよい。
- f) 大型車も対応すべきではないか。
- g) 米本は通年を通した農業体験が行えるよう企画すべき。
- h) 子供が喜ぶ水辺空間を充実すべき。
- i) 国道 16 号から陸小の前までの道路を広げるべきでは。
- j) 小型車しか入場できない島田にとって橋梁は大切である。
- k) 最初は農業体験を優先して行うべきではないか。
- l) 島田谷津の最深部の活用を考えてはどうか。
- m) 農業振興を考慮して試験ほ場・展示ほ場を計画してはどうか。
- n) ライスセンターからのホコリ、騒音に対する対策を計画すべきだ。
- o) 他集落の振興につながる計画にしてほしい。

⑭ふるさとステーション等運営委員会 (平成 16 年 10 月 14 日)

- a) 「ゆめのかげ橋」がないと両地区一体とはならないのではないか。
- b) 売り場の店員が無愛想であるとの苦情がステーションではでている。
- c) 販売ブースは誰が使用するのか。農業のみでなく商工業のブースも計画する。

⑮ J A 青年部 (平成 16 年 10 月 26 日)

- a) 島田と法人クラブだけよくなるのではないか。他の農家のことをどう考えているのか。
→ 島田以外の農家も郷の中核施設に入れると考えている。何が入るかは白紙状態である。

⑯農政審議会 (平成 16 年 11 月 18 日)

- a) 利用主体は公募するのか。→賃貸借形式（ステーション方式）を有力案とし総合的に検討したい。
- b) 赤字になった場合誰が責任をとるのか。→ステーション方式の場合は各テナント自身が責任をとる。
- c) 郷の維持管理は誰が行っていくのか。→現時点では市で行っていく予定である。
- d) しっかりとしたコンセプトを作って欲しい。
- e) 八千代市として商業施設を作ってよいのか。→商業施設は 200m² 程度で市内業者の驚異とはならない。
- f) 景観に配慮した計画として欲しい。
- g) 最初は赤字覚悟でもいいのではないか。
- h) 島田の中核施設への交通の便を考えると、ステーションの成功事例を鵜呑みにすると危険。
- i) 農業だけでなく産業という形でとらえていかなければならない。
- j) 食育の観点からも計画を推進して欲しい。